

地域における琉球銀行

地域とともに

社会貢献活動を展開

琉球銀行は、社会貢献活動も地域金融機関の重要な役割と考え、各地域での清掃活動や諸行事への参加、福祉や環境保全への助成など、さまざまな活動に取り組んでいます。

また、社会福祉活動に関わる法人および団体を助成する「宇流麻福祉基金」、「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」の事務局として、その運営に携わっています。

「りゅうぎんユイマール助成会」

琉球銀行では、役職員による募金と同額の銀行からの寄付金を基金とする「りゅうぎんユイマール助成会」を運営し、地域の福祉活動や環境保全活動を支援しています。



東日本大震災被災者へ義援金を贈呈

平成23年度は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災から1年を迎えるにあたり、改めて被災地に思いを馳せ、一日も早い復興を支援するため、平成24年3月、日本赤十字社を通して東日本大震災被災者へ義援金100万円を贈呈しました。

また、国際親善交流特別演奏会「ミハウ・カロール・シマノフスキ ピアノ・リサイタル」の入場チケットを沖縄県社会福祉協議会に贈呈したほか、サンゴ礁の早期再生を目的としてサンゴの植え付け活動を展開している「NPO法人 美ら海振興会」に募金を贈呈しました。

「りゅうぎんユイマール助成会」は、平成5年に琉球銀行の創立45周年を記念して設立した基金です。毎年、役職員に募金を募り、さらに募金と同額を銀行が寄付することで基金を造成します。例えば、役職員から200万円の募金が集まった場合、銀行も200万円を拠出し、合計400万円を助成会の活動原資とする仕組みです。りゅうぎんユイマール助成会では、地域の福祉活動や環境保全活動を継続的に支援しており、設立からの助成実績は、314件、1億4,267万円となりました。（平成24年6月現在）

第27回 りゅうぎんプレゼンツナイスハートバザールイン沖縄!



ナイスハートバザール オープニングセレモニー

りゅうぎんユイマール助成会および琉球銀行は、平成17年より財団法人沖縄県セルフセンターの主催する「ナイスハートバザールイン沖縄」に特別協賛しています。

平成23年11月5・6日の両日、イオン南風原ショッピングセンターにて開催された第27回「ナイスハートバザールイン沖縄」では、障がい者の自立を促すことを目的に、小規模作業所や障がい者関連団体など37団体の作った木工品・小物・食品が展示即売されました。

琉球銀行は、特別協賛企業としてバザール運営費を補助したほか、バザール本番に先立ち、本店にてバザール出店団体の商品を展示したロビー展を開催し、また、懸垂幕を掲示するなど宣伝活動をバックアップしました。

バザール当日には、多くの当行職員が、販売やイベントのボランティアスタッフとして運営を支援しました。



第17回宇流麻福祉基金助成金授与式

「宇流麻福祉基金」

(助成実績116件、4,692万円 平成24年6月現在)



第14回源河朝明記念那覇市社会福祉基金助成金授与式

「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」

(助成実績133件、6,763万円 平成24年6月現在)

公益信託による社会貢献(公益信託事務局)

琉球銀行は、社会福祉活動に関わる法人および団体を助成する「宇流麻福祉基金」「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」の事務局として、その運営に携わっています。

「宇流麻福祉基金」は、源河朝明氏より委託を受けた公益信託として、平成8年12月に設立され、沖縄県内で社会福祉活動をしている法人および団体に対する助成を目的としています。

「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」は、平成10年11月に設立され、那覇市を中心に県内の社会福祉に関わる活動をしている法人および団体に対する助成を目的としています。



オープニングセレモニー

りゅうぎん紅型デザインコンテスト

琉球銀行は、芸術・文化活動支援の一環として、沖縄県内の若手工芸家の育成と伝統工芸である紅型を広く紹介することを目的に、「りゅうぎん紅型デザインコンテスト」を毎年開催しています。

応募作品は展示会で発表するとともに、入賞作品は琉球銀行のカレンダーの絵柄として採用されるほか、ティッシュやメモ帳など頒布品の絵柄にも採用されています。

※第17回(平成20年)に事業名を従来の「りゅうぎん紅型デザイン公募展」から「りゅうぎん紅型デザインコンテスト」に変更しています。



第20回りゅうぎん紅型デザインコンテスト表彰式

